

郡上市長 山川弘保

所信表明

命を守る
郡上をまもる
若者の未来を守る



4月16日に招集された第2回市議会臨時会において、今後4年間の市政運営における基本方針を述べました。主な内容は以下のとおりです。

このたび、市民の皆様のご支援を賜り、第3代郡上市長に就任をさせていただきました。改めて、その職責の重さに身の引き締まる思いであります。これからの4年間、市民の皆様の負託にお応えするよう全身全霊をかけて取り組んでまいります。

今後の市政運営におきましては、「命を守る。郡上をまもる。若者の未来を守る。」を基本方針とし、誰もが安心して暮らせる郡上を目指して、政策・施策の企画・立案とその実現に取り組んでまいります。

まず、できるだけ早い時期に取り組む課題として、「働きやすさ」、「暮らしやすさ」について、世代に合わせた環境づくりを進めてまいります。

若い人たちが、郡上で働き、郡上で暮らし続けることができる環境づくり

一例として、保育園や幼稚園でのおむつのサブスクリプション制度の導入、利用しやすい放課後児童クラブ・子育てサロンの運営など、子育てと働くことの両立を目指して、環境の一層の充実を図ります。

また、奨学資金制度の充実や医療費助成制度の継続、住宅建設に係る補助制度の継続・拡充や、移住者に対する今よりも利用しやすい各種支援制度の検討など、郡上に住み、安心して暮らし続けることができるための対策・施策を検討していきます。

なお、政策の立案や、施策、事業の推進にあたっては、若い世代のみなさんに各種の会議等への積極的な参加を呼びかけるとともに、対話の機会を生かしてご意見やご提案を施策の中に反映できるようにしてまいります。

郡上の経済・社会を中心的な立場から支えてくたさっている世代に対して、今後も郡上で働き、暮らし続けることに生きがいや誇りが持てるような施策や事業の展開

例えば、事業承継や新たな事業を起こすための積極的な支援策、また企業誘致とその他の事業用地の整備など、働く機会の創出と働く場所の選択肢を拡大する取組みを進めます。

また、情報技術の革新など、労働環境の変化に応じた「働く力」を高めるための支援も必要になると考えます。このため、スマート農林業の技術取得の研修補助、企業がデジタル技術の活用により変革し、競争力を高めていくための効果的な情報提供などを推し進めてまいります。

そして、これらを進めるにあたっては、今後、職業、業種ごとに働く方々との対話の機会や意見交流を行いながら政策立案や事業推進に生かしていきます。

ご年配の方が生きがいを持って安心して暮らし続けることができる地域づくり

世代を超えて交流したり、地域の活動に積極的に参加したりできる機会と環境の整備が必要だと考えます。例えば、地域でのサロンや公民館活動における交流、また、小中学校ごとに地域と学校との交流を行う活動など、人と人との触れ合いを通じて生きがいや楽しさを感じられる取組みを促進してまいります。

また、安心して暮らしいただくためには、誰も取り残さない避難の体制づくり、買い物支援や医療機関などへの利用しやすい移動手段の工夫、地域の中での生活支援や介護予防の仕組みづくりも必要です。小さな拠点づくりの考え方に基つき、互いに支え合い、共に助け合う地域づくりに向け、具体の策を講じていきたいと考えています。

これら今後の地域づくりを進めるにあたっては、地域ごとに懇談の機会を持ち、住民のみなさんが主体となって、それぞれの地域の生きる知恵、暮らしの知恵を生かせるよう、一緒になって考え支援してまいります。

このほか、長期的な見通しをもって次の6つの課題について、これまでの施策や事業の検証を行いながら、人口減少対策や脱炭素社会郡上の構築等への対応を踏まえて取り組んでまいります。

① 医療・福祉・健康

医療・介護等の慢性的に人材が不足している分野の人材育成と確保、今後も安定した形で提供できるための地域医療体制の充実と効果的な運用、健康診断結果を生かした健康づくりを進めます。

② 市民の安全・安心の確保

上下水道施設の老朽化対策、道路や橋梁の計画的整備や長寿命化、河川災害・土砂災害の防止対策、災害時の避難情報提供体制や避難所運営の改善などを国や県と共に計画的に進めます。

③ 地域経済の活性化

商工業の継続及び発展のための中小事業者支援、産業全般にわたる人材不足対策、農林業の技術向上支援や成長産業化を進めます。

④ 環境保全

長良川など郡上の清流の保全、森林や農地の保全、脱炭素社会郡上の実現に向けた活動や日常生活での環境保全活動の取組みを進めます。

⑤ 郡上の特色ある文化・教育

未来を担う子どもたちが地域とのつながりを深めつつ、教育産業学習や体験活動の充実を図り、ふるさとを大切にしたいと思う郡上学的の実施、貴重な文化財の保護と効果的活用、伝統文化や伝統芸能の継承に取り組みます。

⑥ デジタル技術の活用

デジタル技術を活用した市民サービス及び市役所での業務改革を推進します。市民の皆様がどこからでも行政にアクセスできるように、また行政もスピーディに情報発信を行えるシステムを充実させていきます。

今後は、情報技術を活用して市民生活の利便性の向上を目指すほか、事務事業の効率化と市職員の働き方改革を進めます。

なお、これまで推進してきた「観光立市郡上」については、総合的・横断的な取組みとして一層充実を図ってまいります。その中で、観光事業については濃飛横断自動車道や中部縦貫自動車道など、今後、国の基幹道路網の整備や外国人観光客の増加を視野に入れ、本市の観光資源を十分に生かし、観光連盟との連携により魅力ある郡上の観光を推進してまいります。脱炭素社会を求める世界の潮流の中で、環境保全と観光振興の融合を図る新たな取組みも同時に進めなくてはなりません。地域内でのエネルギー循環を視野に入れた施策を実施していきます。

郡上市が合併してから20年を経て、取り組まねばならない重要課題は山積しているのが現状です。大変厳しい財政状況、少子高齢化と歯止め効かない人口減少問題、若い世代が活躍できる社会の実現、公共施設の適正配置、教育行政改革や医療改革など、諸課題の克服に向けスピード感をもって着実に進めてまいります。

郡上市長

山川弘保



▲所信表明を行う山川市長

副市長に置田優一氏、乾松幸氏が就任

4月30日の第2回市議会臨時会において、副市長の定数を2人とする条例改正案及び副市長の選任同意案が可決され、置田 優一氏と乾 松幸氏が副市長に就任しました（任期は令和6年5月14日から令和10年5月13日まで）。副市長2人体制により執行部体制を強化し、スピード感を持って課題解決に取り組みます。また、青木 修副市長が5月13日をもって退任しました。

置田 優一〈就任〉

(64歳、明宝二間手)

昭和53年に旧明方村役場に入庁。合併後は、明宝振興事務所長、市長公室付部長などを歴任しました。



乾 松幸〈就任〉

(64歳、白鳥町越佐)

昭和56年に旧白鳥町役場に入庁。合併後は、会計管理者、総務部長などを歴任しました。



青木 修〈退任〉

(78歳、八幡町尾崎町)

教育長を3期9年、副市長を2期8年にわたり務め、教育行政、市政運営に尽力いただきました。

